

科目名	英語演習	科目コード 030
-----	------	--------------

学年・学科等名	3 学年	全学科	必修科目
単位数・開講期	2 単位	通年	
総時間数	60 時間		
担当教員	十河 克彰・鈴木 智己・水野 優子		

本校の教育目標	1	一般人文科の教育目標	1
---------	---	------------	---

JABEE関連	教育プログラム科目区分	
	教育プログラムの学習・教育目標	
	JABEE基準	

教科書名	Unicorn English Writing (文英堂)
補助教材	Unicorn English Writing Workbook Standard (文英堂) 必要に応じて適宜プリントを配布する 英和および和英辞書
参考書	1年次に購入した『総合英語 Forest』(桐原書店)を適宜参照する

A. 教育目標

場面や目的に応じて、基本的な情報や自分の考えを英語で書く能力を身につけることを目指す。特に基礎段階ではセンテンス・レベルでの語法や構文に気をつけて英語を書くこと、また応用段階では文法的な文と文のつながり(結束性)や意味的な文と文のまとまり(首尾一貫性)のあるパラグラフを書くことを目標とする。

B. 概要

英語によるコミュニケーションの一手段として、2年生までに学習した事柄を確認・発展させながら正確な英文を書けるように学習する。そのために正確な文法・語法、語彙、構文を身につけ、幅広い表現力を身につける訓練をする。最終的には、自分の考えを読み手に分かりやすい英語で書けるようになることを目指す。

C. 学習上の留意点

演習的な要素が多い学習となる。“FOCUS”で示された基本例文の暗記に努め、“EXERCISES”を予め独力で行うことが必須となる。また、定期的に授業内あるいは家庭学習で英文を書き添削・評価を行う。学習中に自分の理解が不足していると思う文法項目については『総合英語 Forest』で復習することが望ましい。

D. 評価方法

試験(60%)、小テスト・課題等(35%)、積極性(発言等5%)で総合的に評価する。また、1月に実施する工業英語検定4級を全員受験し、合格した場合には最終評価に10点を上限に加味するものとする。

E. 授業内容

授業項目	時間	内容
オリエンテーション SETTING UP 1 & 2	2	シラバスを用いてオリエンテーションを行う。学習の内容や進め方がわかる。名詞と冠詞、形容詞・副詞の位置について理解できる。
パラグラフ・ライティング とは何か(1)	1	パラグラフ・ライティングとは何か理解できる。トピックとトピックセンテンスなど文章構成について理解できる。
LESSON 1 クラブ活動	3	基本文型①「S+V」「S+V+C」「S+V+O」 クラブ活動に関することを英語で表現できる。
LESSON 2 パーティー		基本文型②「S+V+O+O」「S+V+O+C」 パーティーに関することを英語で表現できる。

授業項目	時間	内 容
STRATEGIES 1 主語	1	日本語と英語の間の主語の扱い方に関わる違いを理解できる。
LESSON 3 学校紹介	3	基本時制（現在・過去・未来） 学校に関することを英語で表現できる。 【提出課題】旭川高専を紹介する英語の文章を書く。
LESSON 4 旅		進行形（現在進行形・過去進行形・未来進行形） 旅に関することを英語で表現できる。
STRATEGIES 2 基本時制と進行形	1	未来の表し方や進行形にできない動詞など、基本時制と進行形の特徴を理解できる。
LESSON 5 交換留学生	3	現在完了 交換留学生に関することを英語で表現できる。
LESSON 6 食べ物		過去完了・未来完了「経験」「継続」「完了」 食べ物に関することを英語で表現できる。 【提出課題】パーティー後に出す礼状を書く。
(前期中間試験)		1
STRATEGIES 3 完了形	2	完了時制と副詞の使用、過去時制による完了時制の代用など、完了時制に関わる特徴を理解できる。
LESSON 7 事件・報道		受動態①「be 動詞+過去分詞(+by~)」 事件・報道に関することを英語で表現できる。
LESSON 8 日本文化	3	受動態② 完了形、進行形などの受動態 日本文化に関することを英語で表現できる。 【提出課題】自分の出身地の祭りについて簡単に説明する英文を書く。
STRATEGIES 4 受動態		日本語と英語の間の受動態に関わる違いを理解できる。
LESSON 9 音楽	3	助動詞① must, may, can, could, be able to 音楽に関することを英語で表現できる。
LESSON 10 環境		助動詞② used to, would, would like to, should 環境に関することを英語で表現できる。
STRATEGIES 5 助動詞	2	助動詞に関わる「確実さ」の度合い、助動詞+完了形の形、「丁寧さ」の特徴を理解できる。
LESSON 11 将来の夢		to 不定詞①、動名詞、名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用法など。 将来の夢に関することを英語で表現できる。
LESSON 12 コンピューター	2	to 不定詞② to 不定詞の完了形・受動態・進行形・否定形など。 コンピューターに関することを英語で表現できる。
STRATEGIES 6 to 不定詞・動名詞		目的語に to 不定詞をとる動詞、動名詞をとる動詞、to 不定詞の意味上の主語などについて理解できる。
LESSON 13 自分の町	2	分詞① 形容詞的用法 自分の町に関することを英語で表現できる。 【提出課題】自分の町について紹介する英文を書く。
LESSON 14 外国語	1	分詞②「S+V+O+C(=原形不定詞、分詞)」 外国語に関することを英語で表現できる。
(前期末試験)		
LESSON 15 スポーツ	2	分詞③ 分詞構文など。 スポーツに関することを英語で表現できる。
LESSON 16 映画	4	関係代名詞① 制限的用法 映画に関することを英語で表現できる。

授業項目	時間	内 容
LESSON 17 友人		関係代名詞② 非制限的用法 友人に関することを英語で表現できる。 【提出課題】友情をテーマに議論して結論を短い英文にまとめる
LESSON 18 本	2	関係副詞 本に関することを英語で表現できる。
LESSON 19 国際交流	3	仮定法 国際交流に関することを英語で表現できる。
LESSON 20 ファッション		it を含む文型 ファッションに関することを英語で表現できる。 【提出課題】ファッションに関する考えを英語で書く。
STRATEGIES 9 呼応	1	主語－述語動詞の呼応について理解できる。
パラグラフ・ライティング とは何か（2）	2	パラグラフの基本形および、「1パラグラフ=1トピック」の原則を理解できる。
（後期中間試験）	1	
LESSON 24 ユニヴァーサル・デザイン	3	具体例を提示したり、例証するパラグラフを書くことができる。 譲歩を表す構文を理解できる。
LESSON 25 マンガの日米比較	4	目標文を読んで、比較・対照のパラグラフを書くことができる。【提出課題】任意のトピックを選び、比較・対照のパラグラフを書く。
LESSON 26 コンビニエンス・ストア	4	目標文を読んで、因果関係を表す構文を用いて原因・結果を表すパラグラフを書くことができる。 【提出課題】身近な環境問題を取りあげ、その因果関係を述べるパラグラフを書く。
LESSON 27 シンプル・クッキング	4	目標文を読んで、数量を表す構文などを用いて指示・手順を表すパラグラフを書くことができる。
（学年末試験）		

F. 関連科目
英語Ⅲ(3単位)